

ベールを脱ぐ理学部Ⅱ期棟

利根川 伸一（施設係 係長）

8月の後半、弥生門を入ると朝日に輝くⅡ期棟に出会う、北側の足場がはずれ序所に姿を見せる建物は、何かわくわくさせるものがある。Ⅰ期棟に比べると背はちょっと低いけどどっしりとしていてなかなかいい。

さて、昨年の3月に工事着工した理学部のⅡ期工事も早、18ヶ月が経過し、現在約75%程度完了しています。

工事も無事故、無災害で順調に進んでおり現在、地下2階から、地上8階までの仕上げ工事もほぼ完了し、難工事であった既存棟と各階渡り廊下の接続も終わり、新築棟への通行も出来る様になっています（工事中は入れません）。

8月の中旬より外部足場の解体に入り、9月中旬頃には建物の外観が南面の一部を除き周囲に姿を

現します。

7月26日にはノーベル賞受賞の小柴昌俊先生と2階のニュートリノをイメージしたレリーフを製作した陶芸家、藤原郁三先生が2階の大会議室（小柴ホール）、ラウンジを見学され、大変喜ばれ施設部長はじめ工事関係者への労いのことばもいただきました。

工事関係者も完成までしっかりがんばろうと新たな誓いを立てました。

Ⅱ期棟にはⅠ期棟にない図書

室、会議室等が計画され、完成後はⅠ期棟と渡り廊下で往来することができます、将来的にはⅢ期棟も計画されていますが、今回のⅡ期棟については理学部の中核となるべき位置と機能を兼ねた建物になると思います。

これから理学部サイドも附帯設備工事、備品の契約、引越しの調整、今後の運用計画等まだまだ、やらなければならないことが、山積みです。どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。



第6回公開講演会が開かれます

今回のテーマは『宇宙への情熱』です。皆様のご来場をお待ちしております。

- ▶ 日 時 平成16年12月3日（金）18：00 - 20：00
- ▶ 場 所 東京大学安田講堂
- ▶ 講演者 土井隆雄（宇宙航空研究開発機構 宇宙飛行士）
佐々木 晶（地球惑星科学専攻 助教授）
佐藤勝彦（物理学専攻 教授）